

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 8 月 25 日 (2005.8.25)

【公開番号】特開 2004-112728 (P2004-112728A)
 【公開日】平成 16 年 4 月 8 日 (2004.4.8)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-014
 【出願番号】特願 2002-276198 (P2002-276198)
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 1/409

G 0 6 T 5/20

H 0 4 N 1/46

【 F I 】

H 0 4 N 1/40 1 0 1 D

G 0 6 T 5/20 B

H 0 4 N 1/46 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 2 月 17 日 (2005.2.17)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

画像データに対してエッジ強調処理を施す画像処理装置であって、
 空間周波数特性の異なる複数のエッジ強調フィルタを有し、
 エッジ強調を施す空間周波数帯域を所定の条件に基づいて制御することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

画像データに対してエッジ強調処理を施す画像処理装置であって、
 空間周波数特性の異なる複数のエッジ強調フィルタと、
 前記複数のエッジ強調フィルタによる強調量を合成する強調量合成手段とを有し、
 前記強調量の合成比率を所定の条件に基づいて制御することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 3】

画像データの彩度に基づいて前記合成比率を制御することを特徴とする請求項 2 記載の画像処理装置。

【請求項 4】

彩度が低い場合には彩度が高い場合に比べて高周波成分の強調度合いを大きくするように制御することを特徴とする請求項 3 記載の画像処理装置。

【請求項 5】

原稿の網点線数に基づいて前記合成比率を制御することを特徴とする請求項 2 記載の画像処理装置。

【請求項 6】

原稿の網点線数に対応する周波数帯域の強調度合いを小さくするように制御することを特徴とする請求項 5 記載の画像処理装置。

【請求項 7】

画像の変倍率に基づいて前記合成比率を制御することを特徴とする請求項 2 記載の画像

処理装置。

【請求項 8】

拡大時には高周波成分の強調度合いを大きくするように制御することを特徴とする請求項 7 記載の画像処理装置。

【請求項 9】

縮小時には高周波成分の強調度合いを小さくするように制御することを特徴とする請求項 7 記載の画像処理装置。

【請求項 10】

原稿種モードに基づいて前記合成比率を制御することを特徴とする請求項 2 記載の画像処理装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、請求項 1 記載の発明は、画像データに対してエッジ強調処理を施す画像処理装置であって、空間周波数特性の異なる複数のエッジ強調フィルタを有し、エッジ強調を施す空間周波数帯域を所定の条件に基づいて制御することを特徴としている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

請求項 2 記載の発明は、画像データに対してエッジ強調処理を施す画像処理装置であって、空間周波数特性の異なる複数のエッジ強調フィルタと、前記複数のエッジ強調フィルタによる強調量を合成する強調量合成手段とを有し、前記強調量の合成比率を所定の条件に基づいて制御することを特徴としている。